

| 項目          |                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                     | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                                          |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 理念に基づく運営    |                                                                                              |                                                                                                                     |                       |                                                                                        |
| 1. 理念と共有    |                                                                                              |                                                                                                                     |                       |                                                                                        |
| 1           | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>            | その人らしい生活支援と、住み慣れた地域での安心した生活を支える為の事業所理念を策定している。                                                                      |                       | 地域との繋がりや、個々のペースに合わせたその人らしい生活支援を心がけている。                                                 |
| 2           | <p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>                               | 見える場所に理念を掲示し、日々の介護の中で理念が生かされ実践できるように取り組んでいる。また、日常の申し送りや、カンファレンスなどの機会を通じて理念を確認し共有出来るように努めている。                        |                       | 理念の実現に向けて、自分たちのケアの振り返りや、意見交換を行っていく                                                     |
| 3           | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>     | 理念は来所された方々が目にする場所に掲示し、家族や地域の方に理解をしていただけるようにしている。また、運営推進会議を実施する中で、活動や役割などを話しグループホームに対し理解を深めてもらうよう努めている。              |                       | 地域の方々や家族、利用者、職員との交流の機会を設け、ホーム運営に理解をして頂けるよう取り組んでいきたい。                                   |
| 2. 地域との支えあい |                                                                                              |                                                                                                                     |                       |                                                                                        |
| 4           | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>      | 近所の家と畑で出来た野菜のおすそわけを頂いたり、ホーム行事の参加を声がけしている。                                                                           |                       | 今後も積極的に地域の方との交流を深め、今よりもっと日常的な付き合いが出来るよう取り組んでいきたい。                                      |
| 5           | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>        | 自治会の参加や地域での夏祭りに参加し、地域の方との交流を行っている。                                                                                  |                       | 今後も、積極的に地域行事に参加し、地域の方との交流の場が多くなるよう取り組んでいきたい。地域行事の年間の予定を教えて頂き、ホームの年間の行事予定に取り入れ参加していきたい。 |
| 6           | <p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> | 町内会に加入している。運営推進会議の中で、何か協力できることはないか話し合う機会を設けているが、時間帯や、職員の状況により行えていない。町内会の資源ゴミの回収に協力したり、変質者・不審者から児童を守る「防犯協力店」に加入している。 |                       | 可能な限り、地域に貢献していきたい。                                                                     |

| 項目                    |                                                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                            |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |                                                                                                             |                                                                                                                |                       |                                                          |
| 7                     | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>                         | 自己評価や外部評価の意義を伝え、職員全員で自己評価に取り組んでいる。評価をもとに、自分たちのケアの振り返りをして日々のケアに生かすようにしている。                                      |                       | 自分たちの振り返りの機会としてサービスの向上に生かして行きたい。                         |
| 8                     | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>         | 評価への取り組みを伝えと共に、地域の方からでた意見も含め、改善に取り組んでいる。                                                                       |                       | 運営推進会議で積極的に評価の報告や、改善への取り組みを報告し、そこでの意見を取り組みに生かして行きたい。     |
| 9                     | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>                           | 新しい情報を教えていただいたり、参考資料がファックスで届くため、それを職員間で目を通し、日々のケアに活用している。また、実地指導で指導をうけた事に対し、早急に改善を行い取り組んでいる。事業所の実情を定期的に報告している。 |                       | 今後も、積極的な情報提供と課題解決に取り組んで行きたい。                             |
| 10                    | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | 勉強会や研修などで理解を深めているところ。必要に応じて関係者と話しあったり、活用できるよう支援するところまでは出来ていない。                                                 | ○                     | 研修、勉強会などで職員の理解を深めていき、必要な人には活用を支援して行くと共に、関係者とも話をすすめていきたい。 |
| 11                    | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>          | 勉強会や研修などで理解を深めているところ。自分たちのケアを振り返りを行い、職員同士で意見交換や注意しあうなど行い防止に努めている。                                              | ○                     | 研修、勉強会などで職員の理解を深めていき、虐待防止に努めていきたい。                       |
| 4. 理念を実践するための体制       |                                                                                                             |                                                                                                                |                       |                                                          |
| 12                    | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>                            | 入居、退去の際に行っている。                                                                                                 |                       |                                                          |

| 項目 |                                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                      |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>                                 | 意見箱を設けたり、相談・苦情の仕方を重要事項説明書に図式で説明している。日頃の会話の中で利用者の思いをくみ取り改善に取り組んでいる。                                                             |                       | 関りの中で利用者の思いをくみ取り、改善に努めて行きたい。                                       |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>                              | 毎月のケアプラン送付と共に、利用者の日頃の生活などを手紙にし、家族に伝えている。時には、広報誌や写真なども同封している。また、病院受診などは、その都度、必要に応じて電話連絡している。面会時はおこずかい帳を確認していただき領収書を渡しサインを頂いている。 |                       | 家族が知りたい点を考慮しながら、定期的に、または状況に応じて報告を行い、必要な物にはサインを頂いていきたい。             |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>                                | 意見箱を設けたり、面会時に要望や気付いた点がないか聞くと共に、会話の中よりみられる思いをくみ取り対応している。また、相談・苦情の仕方を重要事項説明書に図式で説明している。                                          |                       | 要望・苦情を言いやすいよう、積極的に声をかけていく。                                         |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>                                            | 職員と話す機会をつくり、職員の思いをくみ取る様にし、思いにそえるよう努力している。                                                                                      |                       | 職員が働きやすい環境がつかれるよう職員の意見を反映させていきたい。                                  |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>                       | 状況に応じて、職員間で話し合い、その都度可能な限り対応に努めている。                                                                                             |                       | 状況に応じて柔軟に対応していきたい。                                                 |
| 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | 異動は必要最小限に抑え、長く働いてもらえるよう配慮し異動や離職による影響を少なくしている。代わる時は、顔なじみになるまで時間を要すよう配慮している。                                                     |                       | 利用者と職員の馴染みの関係を大切に、異動や離職を最小限に抑えて行きたい。代わる時は利用者や家族へ影響がないよう十分配慮していきたい。 |

| 項目                        |                                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                                     | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                        |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援               |                                                                                                   |                                                                                                                                                     |                       |                                                      |
| 19                        | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。          | 施設内での勉強会、研修会への参加の機会を作っている。また、業務中で、職員同士で意見交換や、最新の情報を得て、更なるケアの向上に努めている。常に自分たちの行ったケアに対する振り返りをし、どうすれば良いのかを考えるよう指導して、その事を互いに話し合える機会を持つようにし助言や資料提供を行っている。 |                       | 職員に応じた学ぶ機会を作っていくと共に、施設内での勉強会も検討し、充実した内容になるよう努めて行きたい。 |
| 20                        | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | グループホームとの交流をもつ機会を作っている。勉強会を一緒に行い、事例検討などを通じ、互いのケアの向上につなげている。                                                                                         |                       | 勉強会だけでなく、交換研修なども行い相互の良い所を取り入れて、互いのサービスの向上に生かしていく。    |
| 21                        | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。                                   | ユニットから離れた場所に休憩・喫煙などのスペースを設け、リラックスできるよう配慮している。職員間の親睦を図る機会を作っている。                                                                                     |                       | 職員がストレスをためないよう配慮して行きたい。                              |
| 22                        | ○向上心をもって働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。                       | 職員の仕事に対する姿勢や、努力を評価し、向上心をもって働けるよう努めている。                                                                                                              |                       |                                                      |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援       |                                                                                                   |                                                                                                                                                     |                       |                                                      |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 |                                                                                                   |                                                                                                                                                     |                       |                                                      |
| 23                        | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。            | 本人の入院先や自宅に訪問し、顔見知りとなり、ゆっくりと話を聴く機会を作り、本人の思いを受け止めるよう対応している。                                                                                           |                       | 本人が安心できる関係づくりに努めて行きたい。                               |
| 24                        | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。                 | ゆっくり家族と話す機会をつくり、思いを受け止めるよう対応している。                                                                                                                   |                       | 家族の思いを受け止め、より良い関係を築いて行きたい。                           |

| 項目                        |                                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                        | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                          |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 25                        | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>                               | 現在このような事はない。                                                                                           |                    | 本人、家族の要望がある時は支援していきたい。                                                 |
| 26                        | <p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p> | 職員が何度か本人に会う機会をつくり、顔見知りになることを心がけたり、家族と一緒にホーム見学をするなど行っている。                                               |                    | 本人が馴染める方法を家族と相談しながら取り組んでいきたい。                                          |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 |                                                                                                                     |                                                                                                        |                    |                                                                        |
| 27                        | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>                        | 出来たこと一緒に喜んだり、困っているときは力となり、本人の気持ちに寄り添うようにしている。本人の得意とする事を促し、教えてもらう場面を作っている。                              |                    | 共感し、理解しながら、また一緒に過ごし支えあう関係を大切にしながら関係を築いていきたい。                           |
| 28                        | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>                                  | 家族が面会に来やすいように、笑顔で挨拶をするよう心がけ、本人とゆっくり過ごして頂ける様にお茶を出し、落ち着いた環境で過ごしてもらっている。また、なにか悩み事、気付いたことはないか声をかけるようにしている。 |                    | 本人の思いを家族と共有し、家族の不安や悩みの相談を受けたり、一緒に過ごす時間を過ごす機会をつくり一緒に本人を支えていきたい。         |
| 29                        | <p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>                                      | 本人と家族が楽しみを共有できる場面(外出行事・一緒にご飯を食べる等)を作っている。面会時やお手紙にて、本人の様子を伝え、ホームでの生活を理解して頂ける様にしている。                     |                    | 今後も、手紙やお便りで利用者の様子を伝えていくと共に、面会時の環境作りに配慮していきたい。家族と過ごせる機会がつかれるよう支援していきたい。 |
| 30                        | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>                                        | 老人クラブやお墓参りなど、家族の協力を得て外出を行って。友人や、昔から付き合いのあった方などの面会が、今後も関係が途切れないよう、ゆっくり過ごせる環境作りや、本人の状態をみて職員が仲介し支援している。   |                    | 本人の思いや希望を尊重し、家族の協力を得ながら実現できるよう対応していく。馴染みの人との関係が途切れないよう配慮していきたい         |

| 項目                             |                                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                                      | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                               |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 31                             | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。                                                 | その時の活動や場面に合わせて、職員が仲介役となり、利用者同士の関係作りを支援している。                                                                            |                        | 利用者同士の関係に配慮しつつ、互いに支えあえるよう、支援していきたい。                         |
| 32                             | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。                                    | 家族から利用者の事で相談があり、退去しても関係が続いている事が多い。気軽に遊びにきたり、電話がくる事もある。                                                                 |                        | 継続的な関りを大切にしていきたい。                                           |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント     |                                                                                                                    |                                                                                                                        |                        |                                                             |
| 1. 一人ひとりの把握                    |                                                                                                                    |                                                                                                                        |                        |                                                             |
| 33                             | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                                                      | 日常の会話から本人の思いをくみ取り、その実現に向けて取り組んでいる。会話が困難な場合であっても日々の様子や家族からの情報をもとにアセスメントを行っている。                                          |                        | 本人の思いを大切し、その思いをくみ取る努力をしていきたい。会話が困難であっても利用者の視点にたって考えて生きたい。   |
| 34                             | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                                                  | 生活歴から得た情報を元にその方の今までの生き方を理解し、本人のペースで生活が出来るよう支援している。                                                                     |                        | 本人・家族から情報を得て、その情報をいかしたサービスが提供できるよう支援していきたい。                 |
| 35                             | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。                                                        | 本人の体調やペースに合わせ、本人の状態や出来ること・出来ない事を把握し、一緒に行うようにしている。                                                                      |                        | 個々の状態を把握し、生活を支えていきたい。                                       |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |                                                                                                                    |                                                                                                                        |                        |                                                             |
| 36                             | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | その人らしく生活ができるよう個別に具体的な介護計画を作成している。本人、家族の思いや意向を聞く機会を設けたり、職員は関りの中で気付いた事を業務時間の中やカンファレンスなどで意見交換を行い、それぞれの意見を取り入れ介護計画を作成している。 |                        | 本人・家族の意向や要望、職員の気付きを取り入れた介護計画を作成していきたい。積極的に本人・家族にアプローチをしていく。 |

| 項目                          |                                                                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                            | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                  |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|------------------------------------------------|
| 37                          | <p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p> | 定期的に、職員全員でモニタリング・カンファレンスを行い意見交換を行っているが、利用者の状態の変化にあわせ、その都度、家族や職員と話し合い見直しや検討を行い介護計画を作成している。    |                        | 状態に応じた臨機応変に家族や職員を交えて見直し、検討を行っていききたい。           |
| 38                          | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。</p>                                           | 日々の関りで気付いた事や、記録ファイルにケアプランを入れて、ケアプランの実践にそった記録をしている。また、その時の表情や言った事など状況を詳しく記録し、介護計画の見直しに生かしている。 |                        | 記録や申し送りなどで情報を共有することで、利用者の状態の変化に気づき、対応策を検討している。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |                                                                                                                                   |                                                                                              |                        |                                                |
| 39                          | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>                                                     | 家族の訪問時の宿泊など、家族の状況に応じて臨機応変に対応している。また、本人の身体状況や家族の状況に応じ、受診や外出などの送迎など必要な支援にも対応している。              |                        | 本人と家族とのつながりを大切にすると共に、安心して暮らせるよう今後も柔軟に対応していきたい。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |                                                                                                                                   |                                                                                              |                        |                                                |
| 40                          | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>                                                    | ボランティアにお願いしコンサートなどを行っている。また、災害時や緊急時の対応について、消防の協力をえて、利用者・職員ともに実践している。                         |                        | 利用者の意向を聞き、また必要と思うことは、地域資源を活用し協力体制をつくって行きたい。    |
| 41                          | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>                                          | 本人又は、家族から要望がないため行っていない。                                                                      |                        | 本人・家族から要望がある時は協力していく。                          |
| 42                          | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>                                        | 地域包括支援センター職員による権利擁護・成年後見人についてのお話を頂いたり、運営推進会議の中で情報交換を行っている。                                   |                        | 必要に応じて、地域包括支援センターと協力していきたい。                    |

| 項目 |                                                                                                                                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                      | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                               |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>                                                         | 常に利用者の健康状態を相談できる医療機関があり、定期的な往診や緊急時に関しても相談できる体制がある。これまで個々がかかっていた医療機関へも継続的に受診できるよう支援している。                                              |                        | 利用者の健康管理について連携をとり、早期発見・早期対応を心がけて行く。                                         |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>                                              | 認知症の症状や対応方法などについても相談できる医療機関が確保されている。日常の様子や、本人に関する情報を提供することで配慮してもらっている。                                                               |                        | 情報を提供し、適切なアドバイスや治療を受け、本人がより良く生活し得るよう支援していく。                                 |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>                                          | 連携している医療機関より定期的な訪問があり、健康管理の相談をしている。日頃より、看護師と連携をとり、緊急時でも相談できる体制である。また、看護師による緊急時の対応についての勉強会も行っている。看護師と利用者個々の健康管理についての日誌をつくり、やり取りをしている。 |                        | 利用者の変化や健康面での心配がある時は、その都度相談し対応していきたい。今後も定期的に、緊急時の対応の勉強会を行い知識を深め、実践できるようしていく。 |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>                      | 入院時、医療機関に情報を提供を行っている。入院先へ足を運び、本人の病状を確認すると共に、家族の意向なども聞き入院先の医療機関と退院に向けた調整を行っている。                                                       |                        | 入院先の医療機関とこまめに連絡をとり、状態の把握に努め、家族と相談しながら、早期退院に向けての調整を行っていきたい。                  |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>                                   | 入居時には家族へ看取りについて説明している。看取りの状況となったときには、医療機関から家族へ説明があり、家族の意向を聞いたうえで職員間で話し合いを行いながら看取りへ向けての支援している。現段階では具体的な看取りへ向けての方針は作っていない。             | ○                      | 本人、家族、かかりつけの医療機関との話し合いを行い取組んではいるが、看取りへむけての具体的な方針はないので準備していきたい。              |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | 連携している医療機関で健康管理をしてくれている為、相談や緊急時には対応できる体制であるが、現在、看取りへむけての「出来ること・出来ない事」の見極めまで医療機関と話し合えていない。                                            | ○                      | 連携している医療機関と話し合いの場を持ち、方針をもとに看取りへ向けての支援について検討、準備をしていきたい。                      |

| 項目                                                                      |                                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                                                | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 49                                                                      | <p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | 家族を含め、職員が受け入れ先との情報交換を行い、本人が不安なく過ごせるよう対応している。                                                                                     |                        | 本人・家族から不安などないか、よく話を聴き安心して受け入れ先で生活ができるよう、退去時・退去後も受け入れ先と連絡体制をとっていきたい。                                                |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p> |                                                                                                                    |                                                                                                                                  |                        |                                                                                                                    |
| 50                                                                      | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報情報の取扱いをしていない。</p>                                    | 一人ひとりの状態に合わせた声かけを行っている。コミュニケーションの方法も伝わりやすい方法を考え対応している。さりげない声かけや、介助することを心がけ、敬う気持ちをもって関わるようにしている。                                  |                        | プライバシーを損ねるような言葉かけをしていないか職員間で話し合う機会をもち、日常的に確認しあっていきたい。                                                              |
| 51                                                                      | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>                 | じっくりと話を聞く、わかりやすい聞き慣れた表現を使うなど一人ひとりの状態に合わせたコミュニケーションの方法で対応し、本人の思いをくみ取れるよう支援している。日頃の生活の中でも選ぶ場面(食事や飲み物を選ぶ、外食に行った時のメニューを決めるなど)を設けている。 |                        | 選ぶことが難しくなってきたりいる方もいるため、個々にあった声かけ・働きかけを工夫し、本人の希望や思いを引き出し、叶えられるよう取り組んでいきたい。                                          |
| 52                                                                      | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>                       | 起床や就寝、食事など個々の状態に合わせ、本人のペースで過ごせるよう対応している。                                                                                         |                        | その日をどのように過ごしたいかを聞く機会をつくり希望に添えるよう取り組んでいきたい。                                                                         |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援                                            |                                                                                                                    |                                                                                                                                  |                        |                                                                                                                    |
| 53                                                                      | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>                                  | 遺書に衣類を選んだり、買いに出かけたり、本人の行きつけの美容院へ行っている。外出時や行事の際は、お化粧をする機会を作っている。                                                                  |                        | 日々の生活の中でもお化粧をする時間を設け、オシャレを楽しむ機会を増やしていきたい。                                                                          |
| 54                                                                      | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>                   | 本人の状態に合わせ、食材の皮むきや、切るなどスタッフと共に行っている。障害があってもその人が出来ることを日課として行ってもらっている。献立のメニューも希望をきいて取り入れている。外食の機会も作っている。                            |                        | 食事が楽しめるよう彩や、盛り方を工夫をしたり、個々の状態に合わせて、食事の提供をしている。食事の場面だけでなく、準備、片付けと、利用者の状況に合わせて参加してもらった場面をつくり、食事を楽しんでもらえるような支援をしていきたい。 |

| 項目                            |                                                                                      | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                    | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                              |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 55                            | ○本人の嗜好の支援<br><br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。           | 喫煙所はフロア以外に設けている。また、飲酒・喫煙などは希望があった場合は、本人の体調に合わせて医師に相談し対応している。飲み物、おやつはその時々何がいいか本人に聞いたり、好きな物を促すようにしている。 |                        | 今後も、本人の楽しみになるよう希望聞いて対応していきたい。                                              |
| 56                            | ○気持ちよい排泄の支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。       | 水分量のチェックや、排泄表をつけて個々の排泄パターンを把握し、定期的にトイレへ誘導することでパットの汚染の軽減をはかっている。                                      |                        | 本人の状態に合わせ、トイレでの排泄を促して行きたい。排泄の失敗やオムツの使用を減らしていけるよう、今後も職員間で検討していきたい。          |
| 57                            | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。   | 本人の希望に合わせ入浴してもらっている。入浴を拒む方には時間を置いたり、タイミングを見たりし、対応を工夫している。                                            |                        | 今後も本人の希望に合わせ入浴が出来るよう対応していく。また、排泄の失敗があった時は状況に応じてシャワー浴や入浴をしているため、今後も続けていきたい。 |
| 58                            | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。                    | 各フロアにソファを置き、休息できるようにしている。車椅子の方は臥床の時間を決めて休息する時間を設けている。日中の活動量を調整して夜、安眠できるよう支援している。                     |                        | 安心して休息できる環境作りを心がけたい。夜間安眠できるよう、適度な活動を促していきたい。                               |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |                                                                                      |                                                                                                      |                        |                                                                            |
| 59                            | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 個々の生活歴を把握し、得意なことや、好きな事を促している。(縫い物・粘土作りなど)                                                            |                        | 本人の力を活かした場面を作り、役割や楽しみが出来るよう支援していく。                                         |
| 60                            | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 自分でお金の管理が出来ない方が多く、事務所で管理している方が多い。本人の状態に応じて支払いをしてもらう場面を作っている。                                         |                        | 個々の希望や力に合わせお金を使うことの支援をしていきたい。                                              |

| 項目              |                                                                                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                     | ○印<br>(取組んで<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                        |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------|
| 61              | ○ 日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。                           | 希望にあわせ、買い物や、外食などの機会を作っている。歩くことが困難な方でも車椅子で出かけている。近隣の散髪へも出かけている。                        |                       | 本人の体調や希望にあわせ外出する機会を作っていきたい。                          |
| 62              | ○ 普段行けない場所への外出支援<br><br>一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。        | 個々の行ってみたい所を聞く機会を作ると共に、その実現に向けて、家族の協力を得ながら取り組んでる。また、少人数での外出や年に数回の外出行事では家族も参加していただいている。 |                       | 家族参加にてイチゴ狩りに行ったり、普段から買い物や外食などで外出をしており今後も継続して行っていきたい。 |
| 63              | ○ 電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。                                  | 事務所の電話を使用していただき、介助をしたり、取次ぎ席をはずすよう対応している。また、年賀状の返事を書いていただき、あて先の記載や投函は介助している。           |                       | 家族や大切な人とのつながりを継続できるよう支援していきたい。                       |
| 64              | ○ 家族や馴染みの人の訪問支援<br><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。                   | いつでも訪ねてくれるよう面会時間の設定はしていない。家族でゆっくり過ごせるよう居室や居間で過ごし、宿泊もしていただいている。                        |                       | 家族や馴染みの人とのつながりが継続するよう環境作りに配慮していきたい。                  |
| (4) 安心と安全を支える支援 |                                                                                               |                                                                                       |                       |                                                      |
| 65              | ○ 身体拘束をしないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 一人ひとりの人権を尊重を理解し実践している。                                                                |                       | 日々の状態を把握し、拘束しない介護を話し合い実践に努めていきたい。                    |
| 66              | ○ 鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。                  | 個々の様子を把握し、その時の本人の様子に合わせ、行動を見守ったり、危険がないよう付きそうなどの対応をしている。出来るだけ外に出る機会を作るようにしている。         |                       | 本人の思いを尊重し、出来るだけ外に出る機会を作るようにしている。                     |
| 67              | ○ 利用者の安全確認<br><br>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。                             | 個々の行動パターンを把握し、その時々の様子をみて、スタッフの近くで過ごして頂いたり、記録などは居間や食堂などで利用者の様子を感じ取れる場所で行うようにしている。      |                       | さりげなく本人の様子を見守り安全に過ごしていただけるようにしていきたい。                 |

| 項目                        |                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容 ・ 実施していない内容)                                                                          | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                                          |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 68                        | ○注意の必要な物品の保管・管理<br><br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。         | 個々の状況に合わせ危険と思われる物は、目には触れないように配慮したり、使用する時は職員が付き添い、使用後は速やかに片づけるようにしている。                                      |                        | 個々の状態にあわせ、危険のないよう対応していきたい。                                                             |
| 69                        | ○事故防止のための取り組み<br><br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。       | 事故報告書を作成し、再発防止・今後に活かす意義づけを都度話し合っている。また、参考になる資料を配付し、職員全員が目を通すようにしたり、毎月行っている勉強会のテーマで取り上げ学ぶ機会を設けている。          |                        | 事故報告書を書き事故を振り返り、対応策を考えること、また講習、勉強会の通して事故の防止に取り組んでいきたい。                                 |
| 70                        | ○急変や事故発生時の備え<br><br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。                | 応急処置などのマニュアルを作成するとともに、緊急時の連絡網なども準備している。救急隊や看護師を招き、講習や勉強会を行っている。                                            |                        | 勉強会や講習は行っているが、実際に急変があった場合に、スムーズに対応出来るよう講習会を開く回数を増やしていきたい。                              |
| 71                        | ○災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。  | 緊急時の連絡網を作成し、消防隊を招いての災害時の避難訓練を行っている。現時点では日中を想定しての避難訓練しか出来ていない。                                              | ○                      | 火災だけでなく、様々な災害、また日中・夜間を想定しての具体的なマニュアルを作成が必要である。日頃より、地域の方々に協力を得られるよう、運営推進会議などで声がけを行っていく。 |
| 72                        | ○リスク対応に関する家族との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | 利用者の状況を手紙や、面会時に伝え、リスクについて家族に相談しながらどう対応していくかを職員をふくめ話し合う機会をつくっている。                                           |                        | 利用者の状況を伝え、今後の対応について家族へ連絡し了承を得た上で、対応している。今後も、状況に応じて、家族と相談し、対応策を考えていきたい。                 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |                                                                                  |                                                                                                            |                        |                                                                                        |
| 73                        | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。          | 毎日、血圧・脈拍・検温をし、それを記録に残している。普段の様子やいつもと違う様子を記録に残し、体調の変化を早期に発見出来るようにしている。普段と違う様子の時は、関係医療機関に相談し、対応について指示を頂いている。 |                        | 今後も、普段の利用者の様子に注意する事と、少しの変化やサインに気付けるよう努めていきたい。                                          |

| 項目                      |                                                                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                 | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                                    |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 74                      | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。       | 利用者一人ひとりの疾患を把握し、内服薬の内容など、スタッフ間で情報を伝えるようにしている。内服薬の変更がある際は特に注意し、様子を細かく記録に残すようにしている。                               |                    | 個々の内服薬を把握した上で、内服ミスがないよう普段から確認を徹底している。利用者に合わせ、服薬するまでの見守りを行っている。                   |
| 75                      | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。          | 個々に合わせた水分量を促していくとともに、毎日、運動もかねて、階段の昇降などの活動も行っている。食事では繊維質の物や乳製品などの食品を取り入れ、また、腹部マッサージも行っている。                       |                    | 便秘を防ぐよう食事や水分量などに注意し運動を促している。今後、活動の内容も工夫していきたい。                                   |
| 76                      | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。                   | 食後、就寝前に義歯の手入れや、歯磨きを、うがいをを行い、口腔内の確認を行っている。出来る所まで自分で行ってもらい、不十分な所は手伝うようにしている。自力でできても忘れてしまう方もいるため、声がけをおこなっている。      |                    | 歯磨きや義歯の手入れ・装着についてかかりつけの歯医者等の医師を招き講習会を行い、実践している。職員も口腔ケアの重要性を理解し、食後の口腔内の清潔を心がけている。 |
| 77                      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。      | 利用者の状態に合わせた栄養バランスに注意している。一日の水分量のチェックをし、本人の好きな飲み物や、水分がすすまない時は別な物で水分が確保できるよう対応している。また、食べやすい形状にするよう配慮している。         |                    | 咀嚼の状況に合わせ、形状を変えたり、体重の増減、栄養バランスに注意しながら、支援してる。                                     |
| 78                      | ○感染症予防<br><br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)             | 2ヶ月に一度、血液検査を行っている。また、インフルエンザの予防接種についても、職員・利用者共に毎年実施している。参考資料を職員に配布し、感染症の予防に対する理解を深め、手洗い・うがい、塩素系漂白剤での消毒などを行っている。 |                    | 職員、利用者だけでなく、来客者にも手洗い・うがいを促している。今後も、手洗い・うがい、消毒を継続し、湿度・室温にも気かけ、感染症の予防に努めていきたい。     |
| 79                      | ○食材の管理<br><br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。           | 食中毒の予防のため、毎食後、調理器具や布巾を消毒し、食品の保存や調理の際にも充分注意している。                                                                 |                    | 常に衛生面では清潔にするよう心がけている。                                                            |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |                                                                                   |                                                                                                                 |                    |                                                                                  |
| (1)居心地のよい環境づくり          |                                                                                   |                                                                                                                 |                    |                                                                                  |
| 80                      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br><br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 玄関先は明るく、暖かい時期には花壇に花を植えたり、畑を作って気軽に出入りできるようにしている。利用者が冬期間、安全に車の乗り降りが出来るように玄関前はロードヒーティングにしている。                      |                    | 今後も、きれいな玄関まわりであるよう、掃除や環境作りをしていきたい。                                               |

| 項目                     |                                                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                           | ○印<br>(取組んでい<br>きたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(既に取組んでいることも含む)                                                                       |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 81                     | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | 家具類、トイレや浴室の設備などは一般家庭で使用しているものを使っている。また、季節や行事に合わせて、フロアに装飾を行っている。                                           |                        | 利用者の馴染みのあるものや、一般家庭にある物を使用し、落ち着ける空間作りをしていきたい。                                                        |
| 82                     | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>                              | フロア内の様々な場所にソファなどを配置し、一人でもまた、気のあった同士でもくつろげる。また、離れていても周囲の雰囲気を感じられるような空間がある。                                 |                        | どこにいても、安心感のもてる生活空間をしていきたい。                                                                          |
| 83                     | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>                   | 本人、家族を相談し、利用者に馴染み深い物や、昔から使用していた物を持ってきたりしている。                                                              |                        | 利用者が安心して生活して頂けるよう配慮していく。                                                                            |
| 84                     | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>                          | 適度な換気を行うとともに、室内に温度・湿度計を設置し、快適に過ごしてもらえよう配慮している。                                                            |                        | 湿度・室温を気にかけながら、利用者の体温管理にも気を付けている。今後も利用者が快適に過ごしてもらえよう気にかけていく。                                         |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |                                                                                                                       |                                                                                                           |                        |                                                                                                     |
| 85                     | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>                                   | 手すりの高さに配慮し、車椅子の方も使用しやすい作りになっている。また、トイレや浴室は利用者が使いやすいよう工夫されている。居室やトイレの場所がわかりやすいよう、壁紙の色を変えたり、スポットライトを活用している。 |                        | 利用者にとって生活しやすい生活空間となっている。                                                                            |
| 86                     | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>                                             | 利用者一人ひとりに合わせた声がけや活動を促している。また、どこまで手伝うと、どれだけ出来るのかを見極め、コミュニケーションをとりながら必要な支援を行っている。                           |                        | 日々の生活中で、出来る事、出来ない事を見極めていく。得意な事に対し、積極的に取り組めるよう働きかけていきたい。                                             |
| 87                     | <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>                                                     | 外回りには花壇や畑をつくり、玄関前には広いテラスがあり散歩をしたり、食事やおやつを食べたり、気分転換の場として活用している。また、一人になれる空間をフロア内に設けたり、広い空間では活動の場として活用している。  |                        | 室内にこもらないよう、テラスや中玄関を活用し、暖かい時期には外へ出て楽しめるよう花を植え散歩をする事が利用者の楽しみになっている。今後も季節に関係なく過ごせるテラス・中玄関をうまく活用していきたい。 |

| . サービスの成果に関する項目 |                                                  |                                                                                                                                                    |
|-----------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目              |                                                  | 取り組みの成果                                                                                                                                            |
| 88              | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2 / 3くらい<br/>利用者の1 / 3くらい<br/>ほとんど掴んでいない</p> <p>本人や家族から思いや、暮らし方など意向を聞く機会を持ち、また、生活歴などからもアセスメントを行い実現に向けて努めている。</p>               |
| 89              | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | <p>毎日ある<br/>数日に1回程度ある<br/>たまにある<br/>ほとんどない</p> <p>テラスや居間などで一緒にお茶をしながら過ごしたり、食事の時間も一緒に食べながら会話を楽しみゆっくり過ごしている。</p>                                     |
| 90              | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2 / 3くらい<br/>利用者の1 / 3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>本人の生活習慣や状態に応じて本人のペースで過ごせるようにしている。</p>                                             |
| 91              | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている                 | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2 / 3くらい<br/>利用者の1 / 3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>利用者の立場に立って考え、利用者が生き生きとした表情・姿で日々生活していただけるよう、ケアの振り返りや話し合いの機会を設けている。</p>             |
| 92              | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2 / 3くらい<br/>利用者の1 / 3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>個々の希望を聞き、すぐ行ける場所には、その都度行き、遠方についてはしっかりと準備した上で対応している。</p>                           |
| 93              | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2 / 3くらい<br/>利用者の1 / 3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>連携している医療機関による往診での健康管理や、いつでも相談できる連絡体制であるため、利用者の変化がある時は早期に対応し、体調が安定して過ごせている。</p>    |
| 94              | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | <p>ほぼ全ての利用者<br/>利用者の2 / 3くらい<br/>利用者の1 / 3くらい<br/>ほとんどいない</p> <p>危険のないよう利用者の状況に合わせ見守りや付き添いを行い、安心して暮らしていただいている。</p>                                 |
| 95              | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | <p>ほぼ全ての家族<br/>家族の2 / 3くらい<br/>家族の1 / 3くらい<br/>ほとんどできていない</p> <p>家族とのつながりを大切にしている。利用者の状況を伝え、気軽に気付いた点や困ったことなどを話して頂けるよう声をかけ、家族の様々な思いを聴けていることが多い。</p> |
| 96              | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | <p>ほぼ毎日のように<br/>数日に1回程度<br/>たまに<br/>ほとんどない</p> <p>ほぼ毎日、家族・友人などの面会がある。</p>                                                                          |

| . サービスの成果に関する項目 |                                                          |                                                                                                                                                     |
|-----------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 項目              |                                                          | 取り組みの成果                                                                                                                                             |
| 97              | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 | <p>大いに増えている<br/>少しずつ増えている<br/>あまり増えていない<br/>全くいない</p> <p>運営推進会議で話し合いや、会う機会が増えることで、地域の方々と<br/>のつながりが少しずつ深まり、互いの行事へ参加する機会が多くなっ<br/>ている。</p>           |
| 98              | 職員は、生き生きと働けている                                           | <p>ほぼ全ての職員が<br/>職員の2 / 3くらいが<br/>職員の1 / 3くらいが<br/>ほとんどいない</p> <p>働きやすい環境であるよう勤めており、リフレッシュできる環境作り<br/>や、ストレスを発散できる場を設けるようにしており、楽しんで仕事をし<br/>ている。</p> |
| 99              | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                            | <p>ほぼ全ての利用者が<br/>利用者の2 / 3くらいが<br/>利用者の1 / 3くらいが<br/>ほとんどいない</p> <p>現状に満足せず、さらなる利用者の意向をくみ取り、実現に向けて職<br/>員のスキルアップを目指してより良い支援をしていきたい。</p>             |
| 100             | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                        | <p>ほぼ全ての家族等が<br/>家族等の2 / 3くらいが<br/>家族等の1 / 3くらいが<br/>ほとんどいない</p> <p>現状に満足せず、家族とより良い関係を築きながら、家族の思いをく<br/>み取り、取り組んで生きたい。</p>                          |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)